

令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

児童相談所職員のメンタルヘルスに関する調査

<実施主体名>

PwC コンサルティング合同会社

(以下、調査研究報告書の概要を記載。)

【目的】

児童相談所職員が健康を維持しながら働き続けるための要点を整理することを目的に実施した。具体的には、下記3つの問いを想定して実施した。

- ・児童福祉司や児童心理司のメンタルヘルスに影響を与えるのはどのような要素か。
- ・心の健康を保ちながら働いている人が心掛けていること、取り組んでいることは何か。
- ・児童福祉司や児童心理司が精神面での健康を維持しながら働くために、誰が、何をすることが望ましいか。

【概要】

○児童相談所アンケート

- ・管理職を対象に悉皆で実施。
- ・主な調査項目：組織概要、虐待対応件数、長時間労働・休業・退職の状況、管理職が認識する現場職員の心理的負担、メンタルヘルス対策の取組

○児童相談所ヒアリング

- ・アンケート回答者の中から選定し、管理職と現場職員それぞれに個別インタビューを実施。
- ・主な調査項目：プロフィール、業務におけるストレス、心理的負担になる要素、健康で働くために期待すること、児童相談所職員の増員による影響

○事業検討委員会

- ・全5回開催。調査設計や考察等に関する助言を得た。

【結果】

児童相談所職員の業務時間が全産業と比較して圧倒的に長く、メンタルヘルス不調による休業・退職の割合が一般的な地方公務員より高いことが明らかになった。また、メンタルヘルス不調の要因として多くの職員が「対応の難しい保護者の支援・指導を行うこと」「経験年数が浅い中で困難な場面に対応すること」を挙げており、心の健康を維持するために相談しやすい環境を整えたり、実践的な研修を積んだりすることが求められていることが分かった。

本調査結果は、人員配置の見直しを進めたり、困難な事例に特化した育成プログラムを検討したりするうえでの基礎資料として活用が期待される。